

中国における新エネ自動車の普及政策とその効果

日時：2018年3月16日（金）10:00～11:30

場所：同志社大学 今出川校地 寒梅館3階 プレゼンテーションホール

<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/muromachi.html>

講師：孫林氏

上海社会科学院応用経済研究所 副研究員

同志社大学 客員教授

中国で普及加速が見られる新エネ自動車（電気自動車およびプラグイン・ハイブリッド車、燃料電池車を含む）市場の現状、普及促進政策（技術政策と財政政策）の経緯と市場効果、今後の政策展望について報告します。

主な内容

- 1) 新エネ自動車市場の現状と変化
- 2) 普及促進政策の背景：省エネ、環境と産業振興
- 3) 普及促進政策の選択：技術の視点
- 4) 普及促進政策の選択：財政の視点（補助金と減税）
- 5) 政策効果の評価：普及の持続性
- 6) 今後の政策の展望

講師プロフィール：

2000年名古屋大学で博士号を取得。2004年より上海社会科学院副研究員。経済と自動車交通の応用一般均衡（CGE）モデルで、中国の自動車交通関連環境技術と促進政策分析に取り組む。

主著に『自動車関連エネルギー、環境と交通政策研究：CGEモデルの構築と応用』（中国語、上海社会科学院出版社）、Transportation Problems and Policy Solutions in China, in Miyoshi, H.& M. Kii (Ed.)、Technological Innovation and Public Policy: The Automotive Industry (Palgrave Macmillan)、
「CGEモデルに基づく乗用車省エネ、低排出政策研究」（中国語、『中国人口、資源と環境』）など。



参加費無料

参加申込は <https://goo.gl/forms/PNcj5UyN2fC7Vj4n2> よりお願い致します。